



佐世保市中学校書写作品展及び美術作品展

佐世保市内の中学生が授業で制作した書写作品と美術作品を展示する、佐世保市中学校書写作品展と美術作品展が、佐世保市博物館島瀬美術センターにおいて、開催されます。両作品展とも期日は、2月13日(木)～2月16日(日)(展示時間 10:00～17:00)です。

本校生徒の作品も多数出品しています。近くにお寄りの際は、ぜひご鑑賞ください。他校の生徒作品も素晴らしいものが多く展示されています。



画：外赤先生

校長のひと言②②

山田洋次さんをご存じのとおり映画監督です。「寅さんシリーズ」で有名ですが(子どもたちは知らないでしょうね)、私は何といても「幸福の黄色いハンカチ」が一番印象に残っています。30年以上前の映画ですが、高倉健さん演じる主人公が刑務所から出所してきて、食堂でビールをごくごく飲むシーンがありました。子どもながらにも「ビールっておいしいんだ」と思ったことを今でも覚えています。

私が年末に読ませていただいたエッセーに、山田監督が初監督の時、不安や焦燥(しょうそう：あせってイライラすること)に駆られて先輩の野村芳太郎監督に相談をしたエピソードが書かれてありました。山田監督の相談に対して、野村監督はこのように言われたそうです。「スタッフを信頼しなきゃダメだよ。人を信頼できるということは、人間性の問題云々ではなく、才能に関わることだと思うよ」。「スタッフ」を生徒という言葉に置き換えると、我々教師にも通じるものがあるような気がします。

また、地方ロケをしていたときには派手な学ランを着て髪の毛にソリの入った、いかにも不良といった少年が多く見に来たそうです(いかにも昭和ですね(笑))。すると、「寅さん」役の渥美清さんは休憩時間になると決まって、彼らに声をかけていたそうです。そうすると、たった数分で彼らは渥美清さんの子分ようになってしまう。目の前にいる大人が自分をどのような眼で見ているのか(温かく見ているのか、冷たく見下しているのか)、子どもたちは敏感に感じとったのではないのでしょうか。

山田洋次さんは次のように書かれています。「人との信頼関係というものは、相手のことを見つめる眼にかかっているように思います」。深みのある言葉です。

画：外赤先生

